

食品ロス削減を推進する無人販売機 fuubo を 京都駅前地下街ポルタに設置します。 ～「SDGs の推進に関する連携協定」の締結について～

京都駅前地下街ポルタ（京都ステーションセンター株式会社 代表取締役社長 押川正大）と京都府、及び ZERO 株式会社(代表取締役 沖杉大地)、株式会社ウェザーニューズ(代表取締役社長 草開千仁)の4者は、食品ロス削減の取り組みを通じて京都府のSDGsを推進することを目的として、連携協定を締結し、無人販売機 fuubo をポルタ館内に設置します。

【本取り組みの特徴】

- ・食品ロスの削減を推進する無人自販機 fuubo の京都府第一号をポルタに設置
- ・fuubo による食品ロス削減の効果を CO2 排出削減量に変換して評価する実施。

1. 京都ステーションセンター(株)のSDGsに関する取組

- 京都ステーションセンター(株)は、2020年度よりSDGsの思想に共鳴し、出店テナントとの契約に文言を入れるとともに、KES マネジメントシステムの活用による電気使用量、紙使用量、食品残渣量、プラスチック使用量の削減等に取り組んでまいりました。最先端技術の導入も積極的に行っており、床洗浄ロボットの導入をはじめ、生ごみ処理機（バイオ型）やAIスマート空調の導入によるCO2削減の取組を進めています。こうした取組の一環として、食品ロスの削減を通じたSDGsの推進を目的にポルタ館内へのfuubo設置を構想しました。

2. 4者による協定の締結の背景

- 今回のfuubo設置は、この構想に共鳴いただいた京都府、ZERO(株)、(株)ウェザーニューズの4者が締結する「SDGsの推進に関する連携協定」に基づき設置するもので、京都府内第一号の設置になります。（連携協定に基づくfuuboの設置は全国初。）
- 当社と2021年に策定された「京都府食品ロス削減推進計画」に基づき、府内での新たな食品ロス削減モデルの構築を検討していた京都府、無人販売機 fuubo による食品ロス削減を推進してきたZERO(株)、ZERO(株)とともに食品ロス削減量をCO2排出削減量に変換し削減効果の可視化を開始した(株)ウェザーニューズが相互に連携し、食品ロス削減に向けた取組等を通じて、SDGsを推進し環境にやさしい社会を実現することを目指します。

3. fuubo(フーボ)の概要

- 無人販売機 fuubo は、納品期限や販売期限、季節限定のパッケージなどの理由から、場合によってはやむなく廃棄されてしまう商品を小売価格から最大9割引で販売します。
- 非対面・非接触での購入が可能なのが特徴であり、利用者は専用サイトからキャッシュレス決済で商品を購入し、「fuubo」を電子ロック開錠することで商品が受けとれるため、コロナ禍の新しいライフスタイルも意識したものであり、新しいお買物体験を提供いたします。
- ご利用方法の詳細については、fuubo 公式ホームページをご確認ください。
(URL : <https://fuubo-nofoodloss.com/>)



4. 設置場所の詳細と稼働日

- 設置場所 京都駅前地下街ポルタ ポルタプラザ
- 稼働日(予定) 2022年4月22日(金)
- 主な販売商品 菓子類、カップ麺、飲料など

5. SDGsの推進に関する連携協定の詳細

- 目的 相互が連携の上、食品ロスの削減に向けた取組等を通じてSDGsを推進し、環境にやさしい社会を実現すること。

6. 協定締結式

- 日時 2022年4月22日(金) 11:30~11:50
- 場所 京都駅前地下街ポルタ ポルタプラザ
京都市下京区烏丸通塩小路下る東塩小路町 902 番地
- 出席者 京都府知事 にしむま たかとし 西脇 隆俊
京都ステーションセンター株式会社 代表取締役社長 おしかわ せいだい 押川 正大
ZERO 株式会社 代表取締役 おきすぎ だいち 沖杉 大地
株式会社ウエザーニューズ 代表取締役社長 くまびらき ちひと 草開 千仁